

## 70代からはじめる ～リスキリング～

日本では、少子高齢化に加え、スマホの普及など急速なデジタル化、地球環境への対応など急速な変化が生じている。そこで、いろいろな世代でリスキリング(学び直し)の重要性が言われている。終身雇用制度や将来の年金を目当てにできなくなった時代に生きる世代は、リスキリングを通じて、個のスキルを磨き、成長分野へ人材が自在に移動している。企業は、持続的終身成長を目指してシニアのリスキリングを勧めている。また、人生100年時代、高齢者が学び直して自己のスキルを活かし老後の生活を充実させていこうとしている。

90歳の作家五木寛之は日本経済新聞社の講演で「キリストやソクラテスは文章を残さず、彼らが語ったことを弟子たちが聞いてまとめた。ブッダも同じで弟子たちが経典を書いて残した。記録より記憶が大事で、聞くことや語ることが大切という思いが強い」、という話に次いで人生100年時代で、人生を2回生きるようなイメージを持つことを勧めている。そして、「リスキリング(学び直し)ということ、それは自己の経験をリセットして、あらたな自分を見つめなおすことでもある。私も50歳前後のとき、執筆活動を一時やめて、京都の大学で仏教を学びました。そこで知ったのが『他力』という言葉でした。ブッダの言葉を聞いて、その言葉信じ、その力(自力ではない他力)で自分が動かされている、と気付きました。他力に依って自分は書いているという考えに至ることができました。自分が180度変わったように思います。」自分の経験をリセットして、他力を信ずることが大切と。

年をとってから一番の問題は対人関係が少なくなってしまうことだ。多くの人々と会話を楽しむこと、他人の話をよく聞くことが必要と説く。脱会社人間、世間体を気にしたり、気取りや見栄えを気にしたりしない。そして個のスキルを磨いていく、そのためにリスキリングで楽しい将来を求めることをすすめている。

MOS(Microsoft Office Specialist)資格は、マイクロソフトのエクセル・ワードなどのソフトを活用し、パソコン実務に活かせるスキルを持つことを証明できる資格だ。

資格取得の試験は、一般レベルとして、

Word - 365 / 2019

Excel - 365 / 2019

PowerPoint - 365 / 2019

OutLook - 2019

の4科目がある。各々選択しての資格取得ができる。

右図の対策テキスト&問題集が市販されている。5回の模擬テストが付いているので、これを3回ぐらい繰り返して合格点に達していれば、資格の取得はできるだろう。

